

<様式1> 管理運営状況評価書

は選択入力項目

は自動計算のため入力不要

【対象年度:平成28年度】

( ①歴史・文化施設 )

I 施設概要・利用情報

(単位:人、%、円、日)

施設名		掛川市茶室			担当課名	文化振興課	
区分		内容・説明					
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市茶室条例					
	(2)施設設置目的	茶道文化の普及及び伝承並びに市民文化の向上を図る。					
	(3)施設が有する設備、機能の概要	茶室:建築面積202.9㎡、広間、小間、立礼席の3茶室がある。					
	(4)施設建設年度	平成13年度					
	(5)耐震性能の有無	有					
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)						
	(7)指定管理者名	掛川城管理運営共同体					
	(8)指定期間	平成26年4月1日 から 平成36年3月31日 まで					
	(9)債務負担行為設定の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 設定あり <input type="checkbox"/> 設定なし   ※設定ありの場合、(期間 平成26年度～平成35年度) (限度額18,000千円)					
	(10)施設の管理運営形態	②利用料金制度					
	(11)自主事業の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし   ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
	(12)その他事業の有無	<input type="checkbox"/> 実施あり <input checked="" type="checkbox"/> 実施なし   ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ-(3)欄に記入のこと。					
(13)事業報告書提出の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) <input type="checkbox"/> 提出なし						
(14)利用者満足度調査等実施の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 実施あり <input type="checkbox"/> 実施なし   ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)						
区分		H26実績	H27実績	H28実績	H29当初	備考	
(1)施設利用者数	(目標値)	城・茶室・竹の丸の全体で150,000	城・茶室・竹の丸の全体で150,000	城・茶室・竹の丸の全体で167,000	城・茶室・竹の丸の全体で175,400	※協定書に記載した要求水準値を記入してください。	
	(実績値)	14,869	17,639	19,269			
内訳 (施設・設備ごと)	入館者	13,658	16,589	18,123			
	使用者	1,211	1,050	1,146			
(2)稼働率(利用率)					↓備考欄に算定式を記入してください↓		
2 利用状況 (施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					
	(定員 人)	A平日昼間					
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					
	(定員 人)	A平日昼間					
		B平日夜間					
		C土日祝昼間					
		D土日祝夜間					

2 利用状況	(施設・設備ごと)	(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
		(定員 人)	A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分		H26実績	H27実績	H28実績	H29当初	備考		
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名					※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入		
	(2)利用者一人当たりの運営経費							
	(3)運営日数		365	365	365	365		
	(4)運営人員	①正規職員	0.0	0.0	0.0		※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
②臨時職員		5.0	5.0	6.0				

II 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29当初予算額	備考
(1)運営コスト(A)	①人件費					H26より、掛川城と茶室と竹の丸を合わせて掛川城へ一括計上
	②印刷費					
	③通信費					
	④事務用品、旅費、図書費など					
	⑤借上料					
	⑥保険料、消費税(租税公課)等					
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)					
	計	0	0	0	0	
対前年度増減率						
区分		H26決算額	H27決算額	H28決算額	H29当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	0	0	0	0	
	計	0	0	0	0	
対前年度増減率						
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A)+(B)		0	0	0	0	
(4)合計のうち運営コストの割合						
(5)施設の収入 ※1)下記3)に記入する		0	0	0		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合						

III 収支差額の状況 **注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】**

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 施設使用料収入				※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料				
収支差額 a) - b)				

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、掛川城に一括計上している
b) 収支差額( a-トータルコスト)				
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)				

(3)自主事業及びその他事業の状況

(単位:円)

区分	H26決算額	H27決算額	H28決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a) - b)	0	0	0	
c) その他事業の収入				
d) その他事業の支出				
収支差額 c) - d)	0	0	0	

## IV 担当課による評価

## (1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	設置目的を達成できている	3	来館者は伸びており、28年度末からは、呈茶で使用する抹茶を京都産から掛川産に変え、掛川茶の普及に取り組んだ。掛川市の茶道文化の普及と伝承のため、引き続き、創意工夫を凝らした取り組みの実施が求められる。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

## (2) 協定書に記載した業務要求水準の達成度 &lt;達成 3点、8割達成 2点、6割達成 1点、6割以下の達成度 0点&gt;

評価項目	要求水準	実績	評価	改善を要する点
A 施設全体の満足度	90%以上	100%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
B サービス内容の満足度	90%以上	100%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
C 従業員対応の満足度	90%以上	100%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
D 施設安全対策の満足度	90%以上	100%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
E 美観・清潔感の満足度	90%以上	100%	3	引き続き高水準を維持できるよう、月例報告などで課題等を共有しながら、維持管理にあたる。
F 施設の利用者数	167,000人以上	174,872人	3	

※協定書の業務要求水準及び実績を記載し、評価については要求水準に達していれば3、8割達成は2、6割達成は1、6割以下は0としてください。

## (3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	前年度より収支状況が向上している。	3	
2	前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	前年度と同等の収支差額になっている。		
0	前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

## (4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	特に危険な箇所はないが、危険箇所がないかを日頃から確認し、マニュアルにより急な事故等の対応を常に心得ておくこと。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

## (5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	3	
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がないため、行政がやるべきである。 (直営化など)		

## (6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	独立採算となった初年度になるが、維持管理体制が問題なくとられている。以後の期間も、独立採算制を維持できるように留意する。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

31

/ 33

## V その他自由意見

--